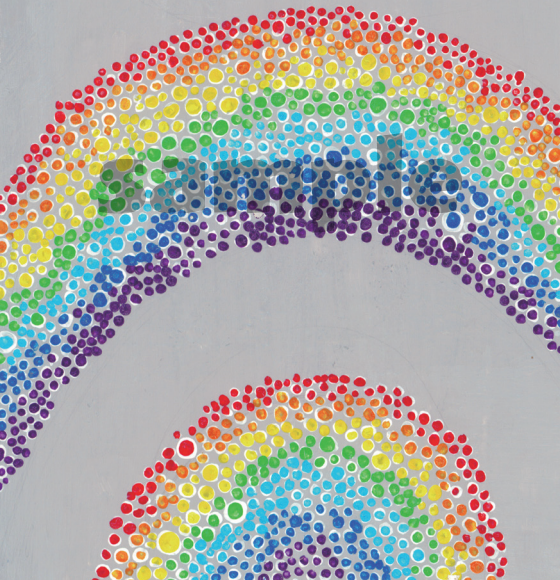
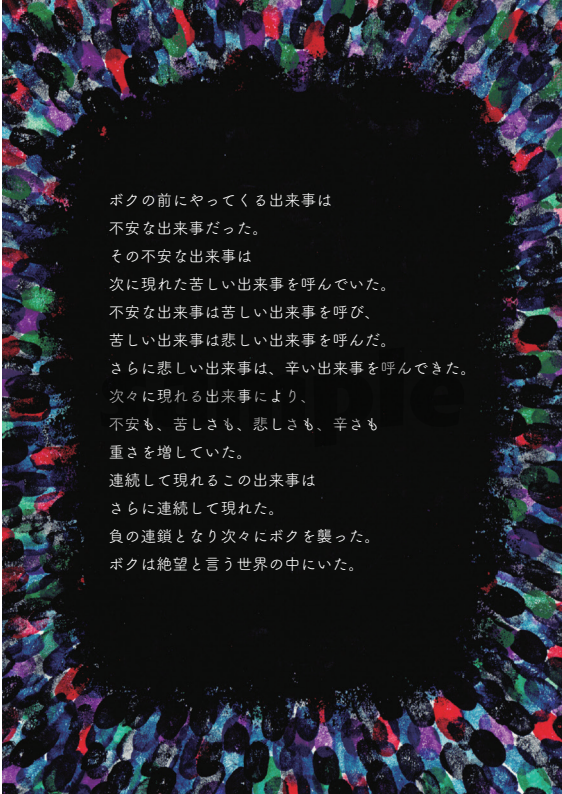


光の世界

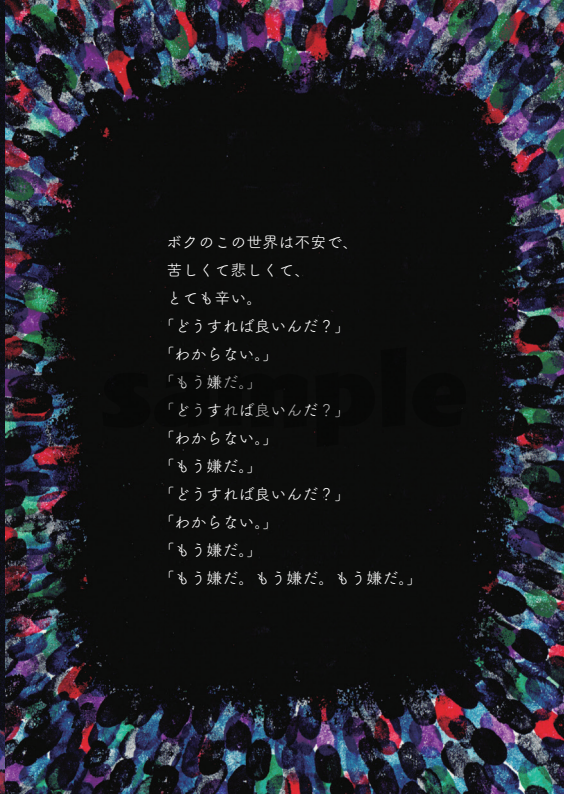
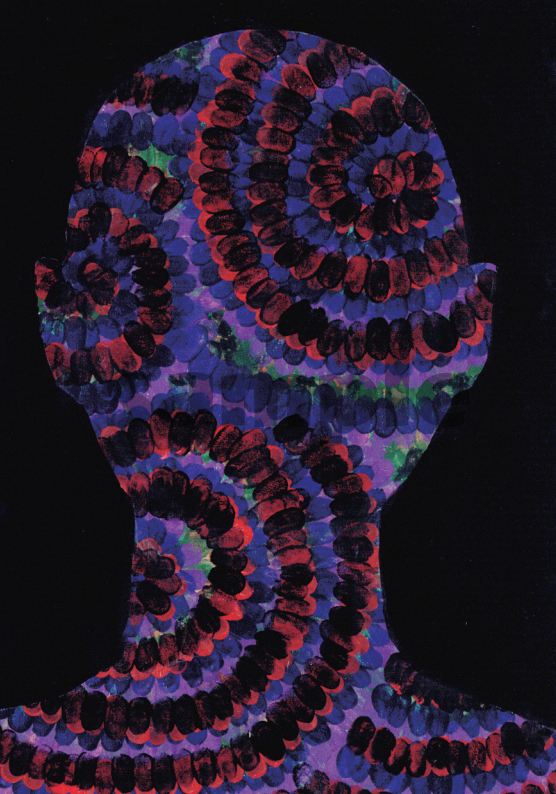
製作：高橋 敦



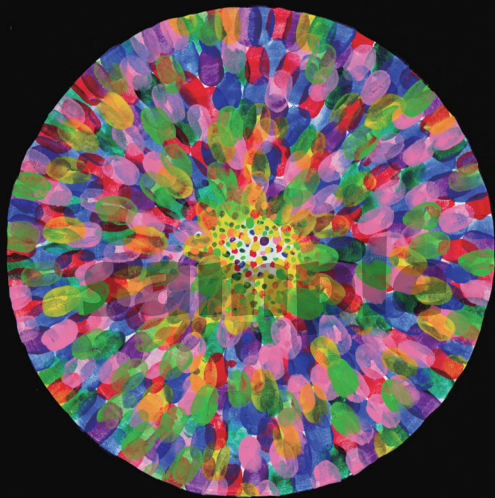
sample



ボクの前にやってくる出来事は
不安な出来事だった。
その不安な出来事は
次に現れた苦しい出来事を呼んでいた。
不安な出来事は苦しい出来事を呼び、
苦しい出来事は悲しい出来事を呼んだ。
さらに悲しい出来事は、辛い出来事を呼んできた。
次々に現れる出来事により、
不安も、苦しさも、悲しさも、辛さも
重さを増していた。
連続して現れるこの出来事は
さらに連続して現れた。
負の連鎖となり次々にボクを襲った。
ボクは絶望と言う世界の中にいた。



ボクのこの世界は不安で、
苦しくて悲しくて、
とても辛い。
「どうすれば良いんだ？」
「わからない。」
「もう嫌だ。」
「どうすれば良いんだ？」
「わからない。」
「もう嫌だ。」
「どうすれば良いんだ？」
「わからない。」
「もう嫌だ。」
「もう嫌だ。もう嫌だ。もう嫌だ。」



ある晩

ボクの前に光の存在が現れた。

「何がそんなに不安なんだい？」

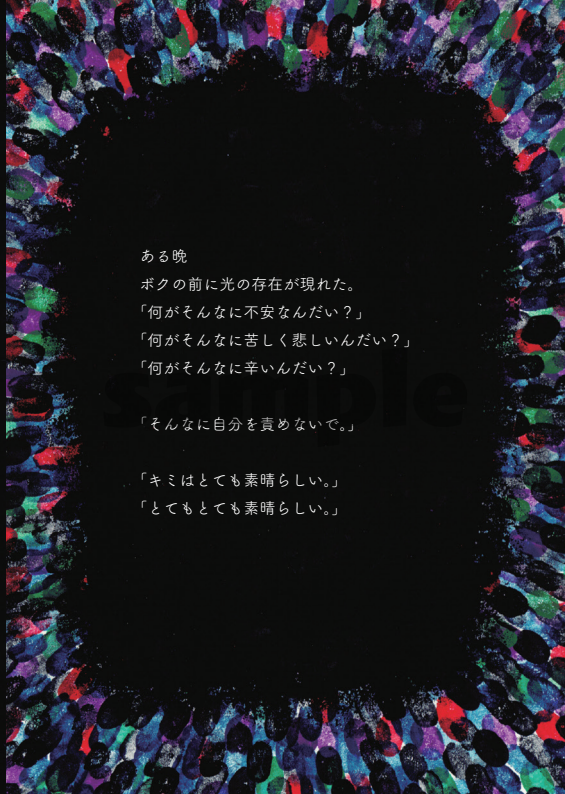
「何がそんなに苦しく悲しいんだい？」

「何がそんなに辛いんだい？」

「そんなに自分を責めないで。」

「キミはとても素晴らしい。」

「とてもとても素晴らしい。」





「キミは光の世界を知ってるかい？」

「光の世界では全てが一つだよ。」

「光の世界では不安な事も、苦しい事も、
辛い事も、楽しい事も、幸せな事も、
ワクワクする事も、イライラする事も、
嬉しい事も、自分で好きに選べるんだよ。」

「全てが一つとしてあるんだよ。」

「そして」

「同時に世界は何もないんだよ。」

「辛い事も、悲しい事も無い。」

sample

光の存在は続ける。

「キミは世界を創れるんだ。」

「キミが変われば世界は変わる。」

「世界を創っているのはキミなんだから…… ……」

ためしよみ

は

ここまでです